

応急処置の方法

ケガ人に対する最初の応急処置が生死を分けることもあります。倒れている人を見つけた時に適切に対処できるようにしておきましょう。

出血していたら

出血の部分を調べましょう

傷口を圧迫

出血部分にガーゼや清潔な布をあて、その上から手のひらで圧迫します。圧迫する際は、感染予防のため、手袋などを必ずはめましょう。

直接圧迫法



細い紐を使わない！

細い紐で縛ると神経や筋肉を損傷するおそれがあります。

骨折していたら

骨折の部分は固定しましょう

骨折の見分け方

ケガをしているところが変形していたり、腫れて痛みが激しい場合は骨折しています。

添木で固定



三角巾を使う



骨折の場合、骨の両側の関節と添え木を布で結び、固定します。三角巾は身体のだの部分でも使うことができ、スカーフや風呂敷などで代用できます。

傷病者がいたら

安全な場所へ搬送しましょう

徒歩搬送法

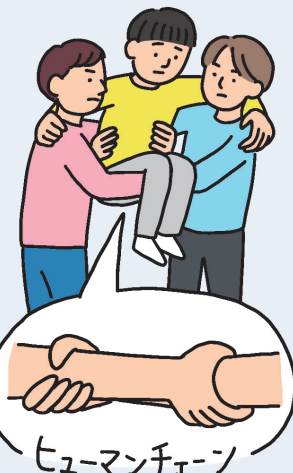
前屈搬送



傷病者の脇の下から腕を通し、傷病者の手をつかんだまま、おしりをつり上げるようにして搬送します。

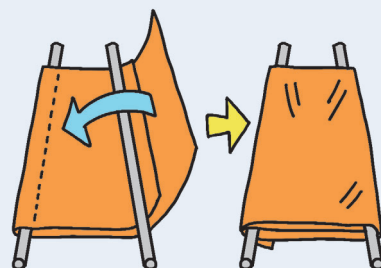
協力者がいる場合うでを組み、その上に傷病者を乗せて搬送します。

組手搬送



ヒューマンチェーン

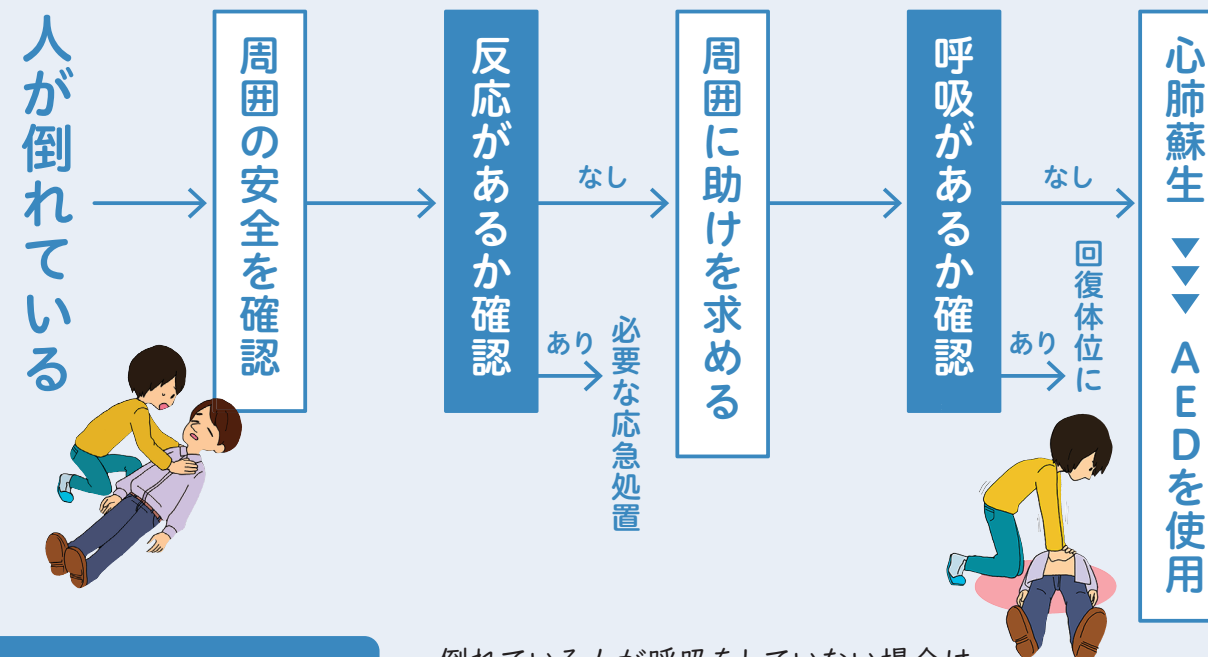
担架搬送法



毛布を広げ、端から3分の1の場所に棒を置きます。初めに置いた棒を包むように毛布を折り返し、もう1本の棒を置き、残りの毛布を折り返します。これで簡易な担架を作ることができます。

AEDを使った救命処置の流れ

倒れている人を見つけた時は以下の流れに沿って救命処置を行いましょう。



心肺蘇生の方法

倒れている人が呼吸をしていない場合は心肺蘇生を実践しましょう。

1. 胸骨圧迫

1分間に100回以上のリズムで胸骨圧迫を開始します。「強く」「早く」「絶え間なく」を意識し、30回続けます。

2. 気道確保

片手で額を押さえながら、もう一方の手の指先をあごの先端に当てて持ち上げ、のどの奥を広げ空気の通り道を確保します。

3. 人工呼吸

気道を確保しつつ、1秒かけて息を吹き込み胸が軽く膨らむのを確認します。これを2回行います。終わったら1～3を繰り返します。

AEDの使い方

心肺蘇生を行っている最中にAEDが届いたらすぐにAEDを使う準備をはじめましょう。

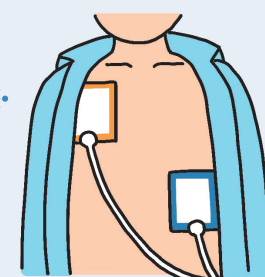
電源を入れる

種類によってはふたを開けると電源が入るものもあります。



パッドをつける

隙間ができないよう、密着させて貼りましょう。



心電図の解析

AEDが自動的に傷病者の心電図を解析します。



電気ショック

指示が出たら誰もふれていないことを確認し、ボタンを押します。

